

保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人MTS
施設名	いろは園
報告者（役職）	長岡 太樹（園長）
住所・連絡先	埼玉県川口市幸町3丁目10番16号1F
	☎ 048-242-5416
	E-mail mts.irohaen@gmail.com

○タイトル（保育計画）

輝く瞳、あふれる思い

○主な助成備品

絵本棚、絵本

1. 保育計画策定の目的

当園は、駅前の商業地域に近いこともあり、ビルの1フロアを賃借した保育園で園庭がありません。いつでも園庭でのびのびと遊べる保育園と比べると、保育環境としては決して豊かとはいえない現状にあります。この点、私達は他の園よりも一層室内遊びに創意工夫を凝らしていく必要があると考えています。

また、当園は外国籍の方が多く暮らす街として知られている埼玉県川口市に所在しています。当園の在園児も、およそ3分の1は外国にルーツを持っており、日本語を殆ど理解していない子も数多くおります。よって、他園と比較して、保育者と子どもたちが日本語でコミュニケーションを取るのに苦勞する状況が多々あります。

この2つの課題を解決する方法として、私達はこのたびの助成事業のお力を借りて、絵本を充実化することを検討しました。

2. 具体的な実施内容

【絵本棚】

当園は、当初は玄関口に机を設置して登降園の受付を行っておりました。この机の代わりにこの度の助成事業で寄贈いただいた絵本棚を設置することで、記帳台としての機能はそのままに保育にも活用できるスペースとして生まれ変わりました。



また、玄関スペースに合わせて絵本棚を特注しましたので、絵本のサイズに応じた高さの設定等の機能面と、壁と絵本棚を連結して固定することによる転倒防止策などの安全面を両立させるようにしました。

【絵本】

この度の助成事業では、300冊あまりの絵本も寄贈いただきました。開園間もない当園にとって保育環境が充実する大きな助けとなりました。保育士は日頃の保育の中で読み聞かせをする際に、季節や子どもたちの気分などに合わせた絵本を選んで読み聞かせを行います。また、子どもたちは活動の合間等に自分たちが興味・関心のある絵本を選んで手に取り、各自が自由に読んだりもします。

絵本には、棚の場所に応じた目印となるシールを貼っており、自分たちで選んで自分たちで元の場所に片付ける、という習慣も身に付きました。





3. その成果と評価

絵本棚を保育環境の一部として設置できたことで、子どもたちのみならず、保護者にとっても絵本という存在を身近に感じてもらえるようになりました。

絵本については、乳児には絵本への興味・関心が高まることに繋がりました。幼児には図鑑に触れることで事象への知識が深まりました。

保育者と外国にルーツを持つ子どもたちとのコミュニケーションの円滑化にどの程度寄与したか、贈呈から本報告までの1年という期間ではなかなか評価が難しい面もありますが、保育士が絵本の読み聞かせをする場面が増え、子どもたちが沢山のことばや物語に触れる機会が増えたことは間違いありません。



4. 今後の課題と展望

今後は絵本の更なる充実化や紙芝居を取り入れることを検討しています。子どもたちにはより多くのことばや物語に触れさせてあげ、その成長・発達を見守っていきたく考えています。

また、当初は降園後の家庭内でも保護者と子どもたちが一緒にいる時間を作っていただくという狙いで絵本の貸し出しを計画しておりました。しかしながら、この絵本の貸し出しは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、当面の間見送っております。今後、感染が落

ち着いてきた頃合いを見計らって、各家庭で保護者と子どもたちが一緒に絵本を読むという機会を提供できたらと考えています。

以上